

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
グローバル化社会における動物由来感染症制御のための国際共同研究と若手研究者育成

シンポジウム

食の安全を守る - 食品由来感染症のリスクと制御 -

日時 平成29年
12月8日(金)・9日(土)

会場 日本大学生物資源科学部
211講義室(2号館1階)



●小田急江ノ島線 六会日大前駅より徒歩5分

プログラム

第1日 12月8日(金) 14:30~20:00 会場：211講義室 対象：学生・教職員・一般

14:30-14:35 開会の挨拶

①研究講演：わが国の人獣共通感染症研究の連携推進

研究組織代表：丸山 総一(日本大学 教授)

座長：松本 淳(日本大学 准教授)
鈴木 由紀(日本大学 専任講師)

14:35-15:05 (1) 狂犬病ウイルスの病原性と自然免疫回避
~国際共同研究の一例として~

伊藤 直人(岐阜大学 准教授)

15:05-15:35 (2) SFTSにおける医学と獣医学の連携

高野 愛(山口大学 准教授)

- 休憩 -

15:50-16:20 (3) 宮崎大学の人獣共通感染症制御に向けた教育研究の取り組み
~モデルカリキュラムの開発とグローバル人材育成~

野中 成晃(宮崎大学 教授)

16:20-16:50 (4) 動物集団で維持されている狂犬病の疫学的解明
~ブラジルでのコウモリ疫学調査を中心に~

伊藤 琢也(日本大学 教授)

②ポスタープレゼンテーション

16:50-17:50 東京大学・岐阜大学・山口大学・宮崎大学・日本大学の大学院学生及び若手研究者

③情報交換会

18:00-20:00 本館地下1階カフェテリア

第2日 12月9日(土) 10:00~12:10 会場：211講義室 対象：学生・教職員・一般

10:00-10:05 開会の挨拶

研究組織代表：丸山 総一(日本大学 教授)

④公開シンポジウム：食の安全を守る

座長：遠矢 幸伸(日本大学 教授)
佐藤 雪太(日本大学 教授)

- 食品由来感染症のリスクと制御 -

10:05-10:35 (1) 食品由来感染症：近年の状況

関崎 勉(東京大学 教授)

10:35-11:05 (2) 食品媒介性ウイルス感染症の現状と対策

野田 衛(国立医薬品食品衛生研究所)

11:05-11:35 (3) 近年の食品媒介性細菌感染症の動向

朝倉 宏(国立医薬品食品衛生研究所)

11:35-12:05 (4) 寄生虫性食品由来感染症

杉山 広(国立感染症研究所)

12:05-12:10 閉会の挨拶

伊藤 琢也(日本大学 教授)

撮影：山下修一先生(植物病理学研究室)

主催 日本大学生物資源科学部・動物医科学研究センター
日本大学大学院生物資源科学研究科・獣医学研究科

お問い合わせ 日本大学動物医科学研究センター 〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866 TEL/FAX 0466-84-3380
e-mail nuverc.brs@nihon-u.ac.jp http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~nuverc/index.html

入場無料
申込不要